

経済建設常任委員会

他都市行政調査 実施報告書

熊本県合志市 11月8日
まちづくり会社について

1. 合志市の概要

- 人口 64,238人
(令和4年9月末日)
- 面積 53.19km²
- 合併 平成18年菊池郡合志町と
西合志町が合併し、合志市
が発足



2. 視察の目的

まちづくり会社（株式会社こうし未来研究所）の設立による市街地の活性化や、当市において喫緊の課題である人口推移への影響を調査し、当市のまちづくりの参考とするため。

3. 調査項目

- まちづくり会社について（株式会社こうし未来研究所）

4. 今後の展開について

まちづくり会社（株式会社こうし未来研究所）は、合志市や合志市商工会議所を含めた14団体が共同出資して設立した株式会社であり、公益性を保ちながら、空き家・空き店舗対策、公共公益施設の活用・管理運営事業、地域づくり・まちづくり関連事業、市街地開発・企業誘致活動を進めている。特に官民連携による地域に新たな雇用と地域産業の場を創出し、総合戦略に掲げた「良好な住環境と雇用を創出するまち」の実現に成功している（「住みよきランキング2022」で九州・沖縄地域2位及び全国21位となり、人口増が続いている）。合志市は熊本市に隣接するベッドタウンとしても、まちづくりが進んでいることから、当市の地域性に類似することから、合志市の取組を参考とし、更なる研究をしていくことが重要となる。

経済建設常任委員会

他都市行政調査 実施報告書

福岡県筑紫野市 11月9日

地域コミュニティによるまちづくりについて

1. 筑紫野市の概要

人口 106,256人
(令和4年9月末日)

面積 87.73km²



2. 視察の目的

コミュニティの希薄化が問題視される中、既存の町内会を新たに地域コミュニティとして再構築した筑紫野市の活動経緯や、地域住民が集うコミュニティセンターの整備を中心に参考とするため。



3. 調査項目

○地域コミュニティによるまちづくり

各コミュニティセンターの段階的な整備の経過について

4. 今後の展開について

筑紫野市では、昭和51年の「筑紫野市総合計画」からコミュニティ政策に取り組みはじめ、平成6年～平成15年の間に5館のコミュニティセンターを建設。さらに平成21年に「筑紫野市地域コミュニティ基本構想」を策定し、平成28年までに新たに2館の建設を含めた7館のコミュニティセンターを建設した。見学した二日市東コミュニティセンターは、最大200人収容可能な研修室や、学生が自由に利用できる学習室、普段は料理教室に使用でき、災害時には炊き出しにも活用できる調理室を備えており、地域住民が利用したいと思える施設であり、当市においても、筑紫野市の取組を参考に、調査研究を進めていくことが重要となる。